



仏典マンガ・仏さまのおしえ



絵：小川ゆきえ <162>

① 清く澄んだ心
修行って
なんなの
かな？

② ある山に—

③ きびしい修行に
明け暮れる
若者がいました

④ ふう…
ダメだ…
もつともつと
頑張らねば…

⑤ どうしても
清く澄んだ心
なれない…

⑥ どうしたのじゃ
先生…

⑦ どれだけ
修行を
重ねても
実は…
清い心に
なれません

⑧ ……
そなたは
なぜ清い心
になりたいのじゃ？
それは…

⑨ 濁った水では
川底の魚の群れも
見えぬもの…

⑩ 同じように

⑪ 濁った心では
自分のことも
他人のことも
わかりません

⑫ もつと
修行して
清い心に…と

⑬ だから…

⑭ それなのに…
自分の濁りが
見えてくる
ばかり…

⑮ 理想のため
ではなく
自分を知るのが
学びなんだね

⑯ ほう…
それで
その清い心で
何をやるのじゃ？
そ…
それは…

⑰ すでに
大事なものが
見えておる
ではないか
え？

⑱ 自分の心の
濁りが
見えておる

参考・『ジャータカ物語』

『ジャータカ』は、仏陀の過去生の物語集。パーリ語聖典では、22編 547話からなっています。多くの經典の中に引用されて、經典の広がりとともに、世界各地に伝えられました。(ジャータカ 185)